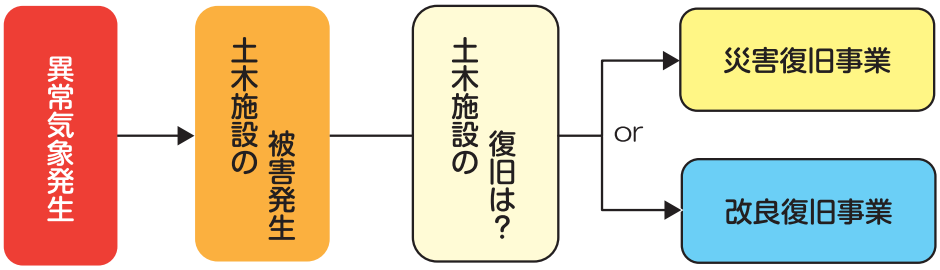
災害復旧事業及び改良復旧事業の概要



災害復旧事業

異常な天然現象により、管理している公共土木施設（河川、道路等）が被害を受けた場合に、速やかな復旧を図り、公共の福祉を確保することを目的とした事業です。

改良復旧事業

河川等の未改修区間が大きく災害を受けた場合に、未被災箇所も含めて一定の計画に基づき、改良を加えて復旧する事業です。

災害復旧と改良復旧事業のイメージ

＜河川災害の場合＞

（被害発生）



・護岸が被災

（災害復旧事業）



・被災箇所のみ原形復旧

（改良復旧事業）



・脆弱部・狭窄部を含む一連区間を改良

＜道路災害の場合＞

（被害発生）



・道路法面が崩壊

（災害復旧事業）



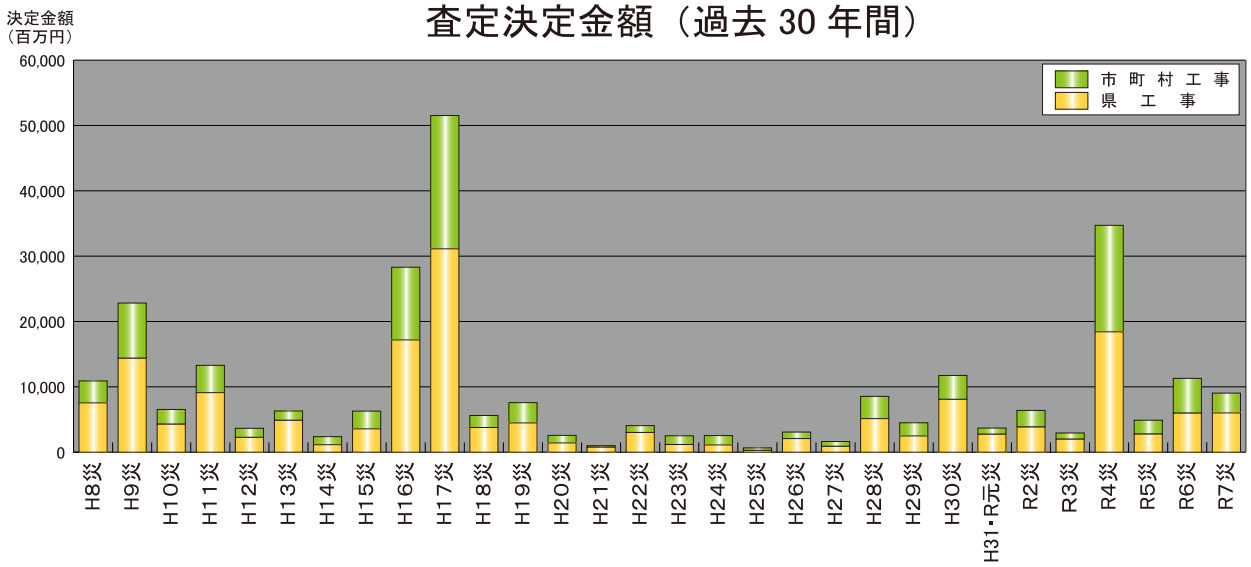
・被災箇所のみ原形復旧

（改良復旧事業）



・被災箇所を橋梁によりショートカットし、再度被災防止と法線是正を行う

公共土木施設災害決定金額の推移



災害復旧の事例

＜宮崎市　明久川（宮崎土木事務所施工）＞



被災前　　復旧後

＜国富町　深年川（高岡土木事務所施工）＞



被災前　　復旧後

＜都農町　名貫川（高鍋土木事務所施工）＞



被災前



復旧後

＜平成２３年の新燃岳噴火時は、都城土木管内にて災害復旧事業として降灰除去を行いました。＞



新燃岳の噴火



降灰堆積状況

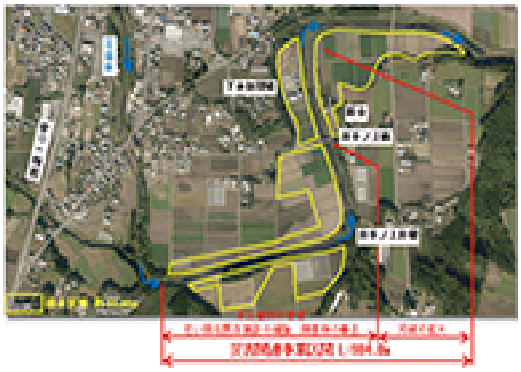


被災時

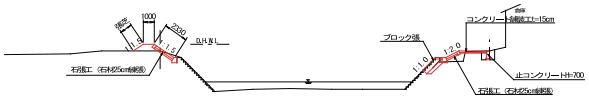
改良復旧事業の事例

＜川南町 平田川（高鍋土木事務所施工）＞

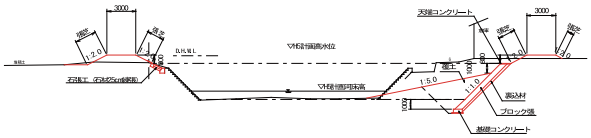
被災箇所の復旧時、河積拡大による流下能力の向上と未災箇所の巻堤、ぜい弱な残存施設の補強等により浸水被害の軽減を図っております。

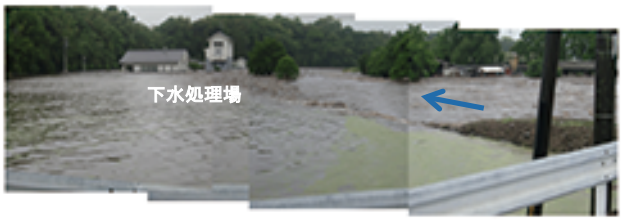


＜災害横断図＞



＜改良横断図＞





井手ノ上橋より下流側



井手ノ上橋より上流側